税務住民課

税の申告関係について

年金収入のみの方、国民健康保険税課税所得申告者に対する地区別所得相談のご案内

日　程	受付時間	会　場
2月8日（木）	午前：9:30～11:00	南栄会館
	午後：1:30～3:00	西部百年館
2月9日（金）	午前：10:00～11:00	美利河交流センター
	午後：1:30～2:30	花石交流センター
	午後：3:00～4:00	中里交流センター
2月13日（火）	午前：10:00～11:00	金原基幹集落センター
	午後：1:30～2:30	八束交流センター
	午後：3:00～4:00	日進寿の家
2月14日（水）	午前：10:00～11:00	種川構造改善センター
	午後：1:30～2:30	神丘構造改善センター

◆年金収入のみで、所得税の納税、還付を要しない方、国民健康保険加入者で、軽減措置が見込まれる方が対象です。
※上記対象者以外の全ての方は、一般確定申告となります。
◆印鑑、公的年金等源泉徴収票等をご持参下さい。

平成29年分 農業所得申告相談のご案内

日　程	地区名
2月16日（金）	中里地区、住吉地区、種川地区、稲穂地区
2月19日（月）	寒昇地区、御影地区、田代地区、八束地区
2月20日（火）	白石地区、金原地区、豊田地区、神丘地区
2月21日（水）	農業所得申告相談予備日

◆受付時間　午前9時～午前11時30分　午後1時～午後4時
◎相談会場　役場2階　会議室
※お身体の不自由な方は、遠慮なく1階税務住民課にご相談下さい。
※指定された日程に来られない方は、都合の良い日にお越しください。



※本人確認書類について

確定申告書等（平成28年分以降）の提出の際には、マイナンバーの記載＋本人確認書類の提示又は写しの添付が必要です。

◆マイナンバーカード（個人番号カード）をお持ちの方は

●マイナンバーカードだけで、本人確認（番号確認と身元確認）が可能です。

◆マイナンバーカードをお持ちでない方は

以下の番号確認書類と身元確認書類が、それぞれ1つずつ必要となります。

番号確認書類

≪ご本人のマイナンバーを確認できる書類≫
●通知カード
●住民票の写し又は住民票記載事項証明書（マイナンバーの記載があるものに限ります。）
などのうちいずれか1つ

＋

身元確認書類

≪記載したマイナンバーの持ち主であることを確認できる書類≫
●運転免許証　●公的医療保険の被保険者証
●パスポート　●身体障害者手帳
●在留カード　などのうちいずれか1つ

※マイナンバーカード（個人番号カード）の写しを添付される際は、表面及び裏面の写しが必要となります。

●一般の確定申告相談日については2月号でお知らせいたします。
●ご不明な点は右記までお問い合わせ下さい。　税務住民課課税収納グループ（☎82-0111）

「障がい者控除対象者認定通知書」発行いたします

●高齢者本人及び高齢者を扶養している方で、その高齢者が知的障がい者及び身体障がい者に準ずると認められた場合（要介護1～5の方）、所得控除額の範囲が広がります。
●農業所得・一般確定申告の所得控除の証明書として申告を行うことができます。
●申請及び問い合わせについては下記にご連絡下さい。
総合福祉施設としべつ内　保健福祉課保険・医療グループ（☎82-2780）

交通料金助成事業」（65歳以上）を実施しています。
もって販売を終了いたします。

多発する水害－被害を減らすためのタイムライン

タイムラインとは？―日本においてはここ数年毎年大規模な洪水や台風による浸水被害が発生しておりますが、後志利別川においても例外ではありません。

被災自治体の対応などで指摘されていることとして、「防災担当に多くの業務が集中する、行動基準が明確でない、現場は混乱し対応に「抜け」「漏れ」「落ち」が生じる、過去の災害教訓が継承されない、改善が進まない」などが挙げられます。これらを解決するための一つの道具がタイムラインです。災害に備え「いつ」「誰が」「何をするか」を時間軸に沿って細かく定めたもので、各機関が行うべきことを決め、互いに把握することで混乱を抑えることができるとされています。

現在、後志利別川においてもこのタイムラインの作成に取り掛かっており、流域タイムライン検討会を９月13日に発足し、同月28日に第１回の検討会、11月10日の意思決定ワーキングを経て、12月４日に第２回の検討会を終えたところです。過去に発生した内水氾濫と想定最大規模の降雨による浸水想定をもとにシナリオが設定され、町の意思決定事項の検討や町内各部署の行動計画が整理され、タイムラインの素案ができたところです。今後２回の検討会を経て試行版を完成させる予定です。

【タイムラインのイメージ】　いつ　何を　誰が

気象・水象状況	防災対応レベル	時間の目安（堤防の決壊から逆算した時間）	行動項目	町	気象台	国	道	自衛隊	警察署	消防署	電気・ガス	交通・通信	民間企業	町内会
台風接近による大雨の可能性が高まる	ステージ１ 準備	４日前～１日前	タイムラインの立ち上げ	○	○	○								
			情報収集・受発信		○	○								
			機関支援の実施	○		○	○							
			水防活動・インフラ対応の準備	○						○	○	○		
			避難所開設準備	○										
水防団待機水位の超過	ステージ２ 早期避難	１日前～12時間前	避難所の一部開設	○										
			要配慮者の早期避難支援	○						○				○
			水防活動の実施			○	○			○				
			交通規制の実施・拡大						○			○		
避難判断水位の超過	ステージ３ 避難	12時間前～６時間前	避難所の開設	○										
			避難準備情報の発表	○	○	○								
			自主避難の実施	○						○				○
			要配慮者の避難支援	○				○		○				○
			水防活動の実施			○	○	○		○				
氾濫危険水位の超過	ステージ４ 避難完了	６時間前～０時間（堤防の決壊）	避難勧告・指示の発表	○	○	○			○	○				○
			住民の避難を実施	○				○		○				○
			現場対応者の退避	○		○	○	○	○	○	○	○	○	
			町災害対策本部の移設	○										
			緊急対応の準備	○		○	○	○	○	○	○	○	○	

鈴木さんの田舎暮らし「出会いと発見」日誌

地域おこし協力隊『いまかね紀行』

地域と都市との付き合い方～関係人口という新しい考え～

皆さま、新年あけましておめでとうございます。今金町商工会に勤務している鈴木でございます。新年最初の発行ということで、協力隊を代表して、ご挨拶申し上げます。今年もどうぞ宜しくお願い致します。

さて、前回に引き続き今回も、地域と都市に関連したテーマについて述べていきたいと思います。

近年、「移住・定住人口」や「交流人口」といった言葉をよく見聞きする様になりました。皆さまの中にも聞いたことがある方がいらっしゃるかもしれません。しかし、最近新たに「関係人口」という都市と地域を結ぶ言葉が広がりを見せています。

では、「関係人口」とは、どの様なものでしょうか。

それは、ある地域となんらかの関係性を持っている人の事を言います。具体的には、田舎がある、友達が住んでいる、仕事や勉強のために一定期間通っていた、ふるさと納税で支援する、ネットで地方の事業者から商品を購入するなどが挙げられます。このように、様々な形で地域と関わっている人たちのことを「関係人口」と呼びます。

そんな関係人口が注目されている理由としては、前段の内容から見て取れるように、住んでいる場所や支援方法に制限されることなく、地域との関係性を築けることが大きな理由として挙げられます。例えば、今では当たり前となった、ＳＮＳを使った写真の投稿も、町外の人が定期的に見てくれ、今金町に興味を示せば、これも立派な関係人口となり、地域と都市とのつながりができます。また、関係人口に対して、段階的に地域との関係性を深めることができれば、おのずと強い絆でつながれ、根強いファンとして地域を支え続けてくれます。

今後ますます都市部や若者を中心にライフスタイルが多様化し、居住地以外の場所に関係性を築く、二地域居住や、多地域間関係保持者などが増えてくると予想されています。そういった層を取り込んでいくことで、地域と都市はより面白い反応を見せてくれると思います。是非気になった方はインターネットなどで調べてみてください。きっと新しい発見があると思います。

地域おこし協力隊　鈴木　佑馬

今金町ではバスカードを半額で購入できる「高齢者
バスカードは平成30年３月31日を